

次世代へ継ぐ！ BIM/CIMの未来！

Jan.28.2022





**Kites rise highest against the
wind – not with it.**

「凧が一番高く上がるのは、風に向かってい
る時である。風に流されている時ではない」

Winston Churchill (ウィンストン・チャーチル)





(飛行機を) 目的地まで素早く移動
させるためには、ジェット気流に乗ること
である！





セッションの目的

BIM/CIMの取り組みがはじまって10年

この10年間の振り返りと、多くの人
「これがだめだった。あれはよくない」との意見
が多数を占めるのは理解している。新しい学
びを含めて従来のプロセスを打ち破るには時
間がかかる。

そこで、本パネルディスカッションでは
「10年の歩みで我々が何を学び、また何を
次の世代に繋ぎ、伝えていくべきなのか」とい
う事を中心に議論をする。



森 博昭



モデレータ 杉浦伸哉



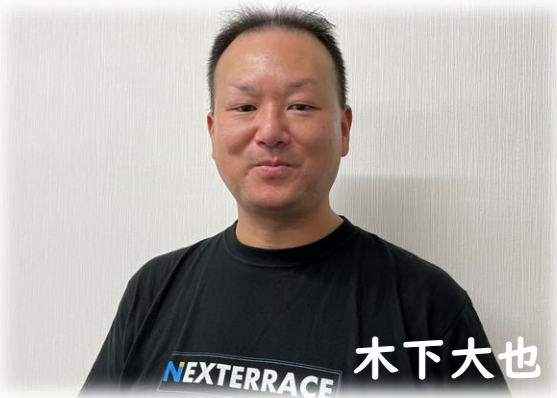
小島文寛



佐々木高志



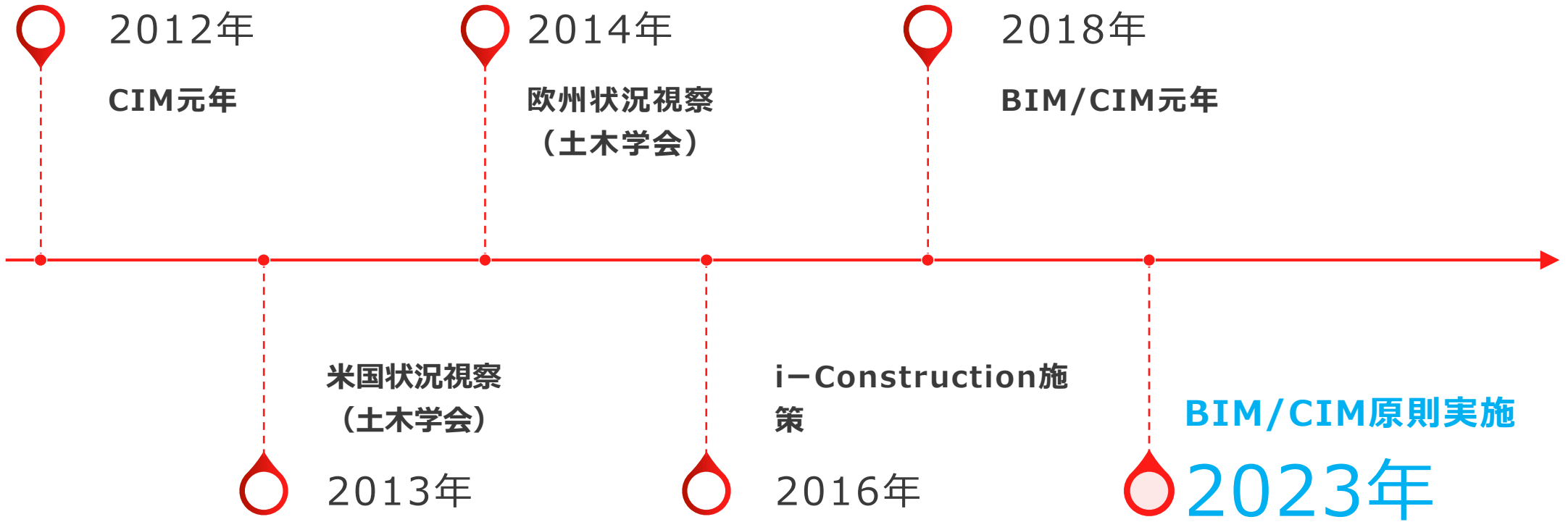
榮西巨朗



木下大也

座談会参加者

10年の振り返り



議論したいこと

- BIM/CIMが始まって何が変わったか
(何を変えたか)
- BIM/CIMは我々に何をもたらしたのか
- 土木エンジニアはBIM/CIMをどうしたいのか
(どうすべき何か)
- BIM/CIMがもたらす「価値」は何か



BIM/CIMが始まって何が 変わったか

- 単なる2D→3Dという流れだけになっていないか

BIM/CIMが始まって何が 変わったか

- 単なる2D→3Dという流れだけになっていないか
 - 仕事の進め方は変わったのか

BIM/CIMが始まって何が 変わったか

- 単なる2D→3Dという流れだけになっていないか
 - 仕事の進め方は変わったのか
 - 誰がメリットを受けるのか

BIM/CIMは我々に何をもたらしたのか？

- BIM/CIMが本当の意味でプロジェクトマネジメントツールとして定着しているのか

BIM/CIMは我々に何をもたらしたのか？

- BIM/CIMが本当の意味でプロジェクトマネジメントツールとして定着しているのか
- 民間には何をもたらしたか

BIM/CIMは我々に何をもたらしたのか？

- BIM/CIMが本当の意味でプロジェクトマネジメントツールとして定着しているのか

- 民間には何をもたらしたか

- 行政には何をもたらしたのか

土木エンジニアは BIM/CIMをどうしたいのか

- ◆ 本来のBIM/CIMが持つポテンシャルを生かすにはどうすべきか

土木エンジニアは BIM/CIMをどうしたいのか

◆ 本来のBIM/CIMが持つ
ポテンシャルを生かす
にはどうすべきか

◆ それをするために、我々
は何をすべきなのか

土木エンジニアは BIM/CIMをどうしたいのか

◆ 本来のBIM/CIMが持つ
ポテンシャルを生かす
にはどうすべきか

◆ それをするために、我々
は何をすべきなのか

◆ 業界を担う若手にどう
なってもらいたいのか

BIM/CIMがもたらす 「価値」は何か？

- ✓ 本当の「価値」を見つけられる人が重要（この能力を見極める）

BIM/CIMがもたらす 「価値」は何か？

- ✓ 本当の「価値」を見つけられる人が重要（この能力を見極める）
- ✓ PROBLEMとCHALLENGEの違いを明確に

BIM/CIMがもたらす 「価値」は何か？

- ✓ 本当の「価値」を見つけられる人が重要（この能力を見極める）
- ✓ PROBLEMとCHALLENGEの違いを明確に
- ✓ 本当の仕事の進め方とは

まとめ

- ✓ BIM/CIMの価値は自らが探し出せ
- ✓ 価値を探すためには、自分事で行う事が重要
(受発注者とも)
- ✓ 若手がどんどん自由な発想で行われる環境を
- ✓ 多様な職種・人材・知識を総動員したマネジメントを！ (本来のプロジェクトマネジメント)



ご静聴ありがとうございました

この座談会が皆さんの
今後の業務に少し
でもお役に立つことを
祈ります。

杉浦伸哉
森 博昭
佐々木高志
木下大也
小島文寛
榮西巨朗